

献 辞

稲田勝幸先生は2019年3月31日をもって本学をご退職されました。稲田先生の長年にわたる本学ならびに商学部へのご貢献に深く感謝し、本号を先生の退職記念号としてお贈りいたします。

稲田先生は1981年3月に神戸大学大学院経営学研究科博士課程単位取得後、同年4月に広島修道大学商学部にて工業経営論担当の専任講師として赴任されました。1983年4月に助教授、1998年4月に教授に昇進され、ご退職まで一貫して本学で教育・研究・運営に当たってこられ、本学の発展に多大な貢献をされました。

先生は1990年8月からカリフォルニア大学バークレー校に客員研究員として1年間滞在され、その際に日本的経営についての講義を要請された経験から、アメリカの経営管理論から日米の経営および生産システム比較にまで研究領域を広げられました。さらに日本的生産システムにおける技能伝承問題の研究においては、エスノグラフィーの手法を用いて、ご自身で現場を体験されたと伺っております。研究に対する先生の情熱と行動力に心から敬服申し上げます。

教育面では、工業経営論から経営管理論と経営組織論を担当されることになり、先生の講義を受講するために、いつも多くの受講生が集まっておりました。先生のゼミナールは商学部で最も人気の高い演習の一つであり、学生と真摯に向き合う先生のお人柄が慕われていたことが窺われます。また、中国をはじめとする留学生を学部ゼミ、大学院の研究指導ともに数多く指導され、卒業生たちは日中両国で活躍しています。

先生は社会活動にも積極的に取り組まれ、比較経営学会、工業経営研究学会、日本経営学会でご活躍されるほか、北広島町情報公開審議会委員も務められておられます。また、差別問題についても精力的に活動されました。

先生は学部の会議のほか、体調を悪くされる前はさまざまな行事にも、積極的に参加されていました。同僚教職員や学生諸君と親しく温和に懇親される姿が心に残っています。私個人としては、先生の研究室を訪問した際、ご自身の目下の研究について目を輝かせながらご教示くださった姿に強く感銘を受けたことを憶えています。

どうぞ今後とも、ご健康に留意され、一層ご活躍されますよう教職員一同心から期待いたしておりますとともに、将来にわたりご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます、献辞とさせていただきます。

2019年5月20日

広島修道大学商学部長 仲 村 靖